

処理加工場完成



新しい店舗兼住宅を眺める齊藤さん夫婦。ならないようにしないとね」と、節子看板を見上げて笑った(8日、気仙沼市)

石巻 殻付き専用 出荷能力3倍

カキの養殖・加工販売会社「海遊」(石巻市雄勝町水浜)の新処理加工場が22日完成した。県内初の殻付きカキ専用で、1日最大約3ト(約2万個)を出荷できる。カキエキスのドレッシングなどの商品への加工も可能で、10月から本格稼働する。

新処理加工場は総床面積約500平方メートルで、自動の洗浄機や分別機のほか、加工設備などを備える。総事業費は約1億3000万円。水産庁の補助金を活用した。

同社は、東日本震災後の2011年12月に設立された。生のむき身が中心の県内産カキの中で殻付きに特化。地元・雄勝町のほか、気仙沼、東松島市などからも仕入れ、現在、全国約600の飲食店に向けて年間約250トを出荷している。

これまで殻の一部が欠けるなどしたカキは廃棄され、全水揚げの2割程度を占めていたが、新処理加工場では加工用に回せる。県内沿岸部などに被害をもたらした先月の台風10号の影響で、養殖いかだから落下した東松島産のカキなどもすでに持ち込まれているという。

新処理加工場は、1日約

てきた。雪がしんしんと降りる夜、仮設住宅の居間でテレビを見ていた悦子さんが「うつ」と声を上げて倒れ、そのまま帰らぬ人。原因不明の急性心臓死だった。「その日も配達に出していた。あんな元気な子がなくて」悲しみに食べ物のものを通らなかつた齊藤さんと節子さんだったが、再建の白紙化は考えなかつた。「新店舗は悦子の夢。必ず建て

育てた稲刈り取り 馬場さんも参加



仙台市太白区坪沼地区に今年4月に移住し、農業に励んでいるお笑いコンビ「キングビスケット」の藤城翔威さん(21)と平井夏樹さん(21)が秋分の日(22日)の22日、自分たちで育てた稲の刈り取りに挑戦した。

2人は今年5月、お笑いトリオ「ロバート」の馬場裕之さん(37)や地元農家と共に同地区で田植えを行い、今月にはひとめぼれがたわわに実った。

22日の稲刈りには、仕事先の名古屋から駆け付けた馬場さんや地元農家ら約50人も参加。キングビスケットの2人は約10畝の田んぼで長靴を履き、黙々とカマで稲を刈り取ると、他の参加者と協力し

1トにとどまっている現工場の3倍の出荷能力がある。震災後に雄勝町の人口が激減する中、すでに地元で新規雇用した2人を含む14人が働く予定だ。伊藤浩光社長(55)は、養殖から加工

工、販売までを手掛けるカキの「6次産業化」を進めており、「県外への販路を拡大しつつ、漁師からの仕入れや雇用も増やし、三陸地方の水産業を元気にしたい」と話している。

種だ。東日本震災の年に、茶豆を育ててきた畑のほとなどが浸水。被災を免れた農地で作付けが続けられてきた。また、生産者も減っており、今年の耕作面積は震災前の6割の約3畝にとどまった。

今年13日に始まった収穫は25日頃に終わる予定。階上生産組合の佐藤美千夫組合長(72)は「台風など今年は雨が多かったため小粒だが、味は上々」。茶豆は、主に同市内や仙台市に出荷される。

気仙沼茶豆を収穫

気仙沼市階上地区では22日、収穫の最盛期を迎えている特産の枝豆「気仙沼茶豆」の生産者ら約10人が朝から刈り取りや箱詰め作業に追われた。

約15年前に生産が始まった気仙沼茶豆は、甘みが強く、茶色い薄皮が特徴。1キ・タあたり1000円前後で取引されるブランド品

種だ。東日本震災の年に、茶豆を育ててきた畑のほとなどが浸水。被災を免れた農地で作付けが続けられてきた。また、生産者も減っており、今年の耕作面積は震災前の6割の約3畝にとどまった。

今年13日に始まった収穫は25日頃に終わる予定。階上生産組合の佐藤美千夫組合長(72)は「台風など今年は雨が多かったため小粒だが、味は上々」。茶豆は、主に同市内や仙台市に出荷される。

順位	選手	スコア
1	藤の花	60
2	大藤	58
3	藤の海	57
4	尾翔	56
5	美豊	55
6	加美	54
7	寺尾	53
8	藤の海	52
9	藤の海	51
10	藤の海	50
11	藤の海	49
12	藤の海	48
13	藤の海	47
14	藤の海	46
15	藤の海	45
16	藤の海	44
17	藤の海	43
18	藤の海	42
19	藤の海	41
20	藤の海	40
21	藤の海	39
22	藤の海	38
23	藤の海	37
24	藤の海	36
25	藤の海	35
26	藤の海	34
27	藤の海	33
28	藤の海	32
29	藤の海	31
30	藤の海	30

井手紀美子さん 21日、75歳で24日午後1時、町前のセレミア多賀城橋会館同袖野田町37の5(喪夫、繁雄さん)

おみやみ 式は告別式 自は自宅 喪は喪主

第69回秋季東北地区高校野球大会(22日) 準々決勝

仙台城南3-1 仙台三利 4-3 東北学院

仙台育英10-0 東北学院 (5回コールド)

東 陵 9-4 古川学園

22日には、チャリティー トーナメントが行われた。プロとアマチュアから44組計176選手が参加し、笠りつ子選手(28)らのチームが優勝した。集められた寄付金は県立こども病院に贈られる。

(28)も参加する。イ選手は開幕を前に、「プレッシャーに負けず、優勝を目指したい」と意気込んだ。

〒980-0021
a x 222-8386
omiuri.com
〒986-0821
a x 96-9602
〒989-6117
a x 22-0049
226-22-6980
224-25-2296
.co.jp/local/

343-81
382-3068
223-2362
245-1935
山部251-6025
東部351-7727
東城361-3833
22-262-5807
-yomiurik
22-266-1562
22-387-3300
22-222-5811
229-21-1911
(土曜日)
日<先勝>

魚川
満潮10.54
19.55
干潮3.00
13.48
(小潮)



順位	選手	スコア
1	藤の花	60
2	大藤	58
3	藤の海	57
4	尾翔	56
5	美豊	55
6	加美	54
7	寺尾	53
8	藤の海	52
9	藤の海	51
10	藤の海	50
11	藤の海	49
12	藤の海	48
13	藤の海	47
14	藤の海	46
15	藤の海	45
16	藤の海	44
17	藤の海	43
18	藤の海	42
19	藤の海	41
20	藤の海	40
21	藤の海	39
22	藤の海	38
23	藤の海	37
24	藤の海	36
25	藤の海	35
26	藤の海	34
27	藤の海	33
28	藤の海	32
29	藤の海	31
30	藤の海	30